

報告事項ス

文部科学大臣による平成19年度学校保健表彰及び学校安全ボランティア活動
奨励賞について

平成19年度学校保健文部科学大臣表彰及び学校安全ボランティア活動奨励賞について、
別紙のとおり報告します。

平成19年11月8日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

文部科学大臣による平成19年度学校保健表彰 及び学校安全ボランティア活動奨励賞について

体育保健課

1 表彰の趣旨

学校保健及び学校安全の普及と向上を図るため、これらに関し優秀な成果をあげた学校保健及び学校安全関係者を文部科学大臣が表彰する。また、子どもの安心・安全な学校教育活動に貢献する優れた活動を行っている団体に、学校安全ボランティア活動奨励賞を贈る。

2 本県の被表彰者・被表彰団体及び功績概要

(1) 学校保健関係

① かきさか としたけ 柿坂 俊武 (学校医)

35年有余の長きにわたり、八頭町立八東中学校、同丹比小学校の校医として、児童生徒の健康診断や保健指導にあたり、疾病の予防と学校保健衛生の推進向上に貢献している。また、養護教諭と緊密に連携をとりながら児童生徒の健全育成に貢献している。さらに、八頭郡内の教諭で構成する健康教育部会からも講師として招聘されるなど、学校保健の推進向上に大きく貢献している。

この他、課外活動を奨励して体力の増強を図り、地域ぐるみで発育途上にある児童生徒を育てあげる機運を高めるなど、保護者、学校関係者の信頼が厚い。

② のさか ももき 野坂 百樹 (学校歯科医)

33年間にわたって、伯耆町立溝口中学校、米子市立日新小学校、同五千石小学校の学校歯科医として学校保健の普及向上に取り組み、むし歯等歯科疾患の早期発見・早期措置の徹底を図るとともに、口腔内の管理・指導による歯科保健意識の向上推進に努力している。

歯科検診では、児童生徒に対して歯科疾患の発生、進行状況とその自己管理を指摘指導し、相談に応じている。定期健診以外でも学校に出かけ、ブラッシング指導、歯磨きの習慣づけ、食事と咀嚼、歯列と咬合等について講演指導をするなど熱心に活動している。また、学校保健会等で学校と家庭の連携による歯科保健の推進を呼びかけ、意識の向上に努めている。

③ 田村 由美子 (江府町立江府中学校養護教諭)

32年間にわたり、養護教諭として積極的に生徒の健康管理、子どもたち一人ひとりに寄り添った保健指導、心の健康の保持増進に力を発揮している。平成12年度・13年度には鳥取県学校保健会養護教諭部会会長に就任し、会の発展と養護教諭の資質向上や専門性を高めることにも努力した。また、同時期に日野郡や西伯郡の中学校養護教諭の中心となり、保健室からのメッセージ「ゆれる心・はずむころ」を発刊した。

平成12年鳥取県西部地震に見舞われた際、地震直後からカウンセラーと協力し生徒の心のケアを行った。また、担任とともに家庭訪問をし、生徒や保護者を励まし続け、勇気付け、寄り添う指導に誠心誠意努めた。

(2) 学校安全ボランティア活動奨励賞

① 倉吉市立久米中学校PTA

保護者、学校、地域社会のつながりを大切にした防犯活動、安全指導を継続的に推進しており、活動が地域全体の活動へと広がりを見せている。活動内容は、交通安全週間の登下校時の街頭指導、地域の祭りの際の生徒への巡回指導の実施、全校生徒を対象とした自転車点検を専門業者や警察の協力を得て実施、学校一斉公開時における不審者対応の巡回等多岐にわたっている。

特徴的な取り組みとしては、小学校区ごとの防犯パトロールを下校時刻に実施しており、その取り組みが、県警察から防犯ボランティア団体として認められた。また、この取り組みが地域のNPO法人や青少年団体へも広がり、地域全体への活動につながっている。

3 表彰式

(1) 学校保健関係

日 時 平成19年11月8日(木) 13:00～
場 所 香川県県民ホール『グランドホール』(高松市玉藻町9番10号)
第57回全国学校保健研究大会において表彰

(2) 学校安全ボランティア活動奨励賞関係

日 時 平成19年11月13日(火) 14:00～
場 所 独立行政法人 国立オリンピック記念青少年総合センター
(東京都渋谷区代々木神園町3番1号)
平成19年度学校安全推進フォーラムにおいて表彰